

## 全国で大流行！？ 新しいまちづくりの手法！

現在、まちの中では空き家・空き店舗などの遊休不動産が増加し、まちの活力が失われつつあります。

リノベーションまちづくりは、遊休不動産や公共施設を再生・活用することによってまちに新たな価値を創出する、民間主導の公民連携まちづくりの手法です。2011年に北九州市小倉から始まり、まちづくりの新たな成功事例として注目され、全国に広がっています。



# りのまち通信

編入導  
第1号

「リノベーションまちづくり通信」略して「りのまち通信」でございます。都市計画課を中心に現在取り組んでいる「リノベーションまちづくり」に関する情報を皆さんにお届けします。

今回は通信第1号ということで、「リノベーションまちづくり」についてざっくり簡単に紹介します。

## きっかけは元気会議！

栃木県は、平成11年に中心市街地の活性化組織「栃木県まちなか元気会議」を設置しました。元気会議は、平成30年度から3年間、リノベーションまちづくりの普及啓発活動に取り組むことを決め、会員である鹿沼市はそのプログラムにプロジェクトチームを結成して参加することになりました。

今年「知る」をテーマに講演会やワークショップが開催されました。

平成30年12月25日  
都市計画課 発行

## 突撃！ 隣のリノベーション

福岡県北九州市  
「北九州市小倉魚町」



遊休不動産を活用し質の高い雇用を生み出すことで、まちの賑わいやコミュニティの再生をテーマに掲げた「小倉家守構想」のもと、コンパクトなエリアで事業開始から15件以上の不動産再生と400人以上の雇用創出が実現されています。

